

May
2017

No. 27

赤レンガ通信

ハワイ州と北海道の友好提携

北海道
www.pref.hokkaido.lg.jp



ハワイ州と北海道の友好提携

©ハワイ州産業経済開発観光局

な ぜか、正反対のものにほどひかれ合ってしまいます。5月8日、常夏の国ハワイ州と雪国北海道の両知事は友好提携宣言に署名しました。意外なペアだと思われそうですが、大自然に囲まれた島国で観光地として力を入れている、そして先住民族の文化を守り続けているなど、実は、両地域は多くの共通点を持っています。また、両地域は様々な分野での交流を進め、関係を深めてきました。その結果、今回友好提携を結ぶことができました。

北海道の広大な雪景色と流水で覆われる冬の海は、ハワイ州の緑豊かな大地と美しく青い海と対照的ですが、それぞれに特色がある美しい自然を持っていると言う点では共通しています。この友好提携を通して、州民・道民は自分が住んでいる地域とまた違う自然を楽しみ、両地域間でより一層交流が深まることを期待しています。私個人としては、喜んでハワイ州への飛行機に乗って、北海道の寒い冬から逃れたいですし、ハワイ州民もハワイの暑さから逃げて雪遊びをしたり、さっぽろ雪祭りでホットワインを飲みながら大雪像を見るなど、北海道を楽しめるのではないかと思います。

ハワイ州は長年にわたり世界的に有名な観光地と認知され、また北海道は2016年に、世界の旅行者に利用されているガイドブック「ロンリープラネット」にアジアの旅行地で1位に選ばれました。毎年、北海道に来る外国人観光客が増え

ているので、ハワイ州から多くのことを学び、アジアの中だけではなく、世界での北海道の認知度向上を期待しています。

また、両地域には文化を大切にして暮らしている先住民の方がいらっやいます。刻々と変わり行く時代の中、ハワイ州はハワイ先住民の文化や言語の保護に努めています。高橋知事は調印式の前に、ホノルル市にあるハワイ語伝承プログラム学校「クラ・カイアプニ・オ・アヌエヌエ」を訪問し、生徒たちと交流し、学校の授業などを視察しました。アイヌの言語や文化を未来に継承していくための参考にする考えです。

共通点と相違点があるからこそ、ハワイ州と北海道の関係はより深くなり、これからの交流も広がっていくに違いありません。両地域がどのように成長していくか、お互いにどんなことを学べるか楽しみにしています。そして、ハワイアン航空のホノルルと新千歳の直行便を使い、ハワイ州へ遊びに行きたいです。ぜひ常夏の国で会いましょう！

ALOHA!

イランカラプテ!

ハワイ州訪問の様子



両地域の知事が署名した友好提携宣言



高橋知事はイゲ知事からコアの木のウクレレをいただきました。



ハワイ州と北海道の友好提携に加えて、両議会も交流に関する合意書に署名しました。



友好提携宣言署名式ではアイヌ民謡とアイヌ舞踊が披露されました。



友好提携宣言署名式では北海道札幌国際情報高等学校の吹奏楽部によるダンプレが披露されました。



ハワイ語伝承プログラム学校「クラ・カイアプニ・オ・アヌ」で高橋知事は生徒と笑顔で会話しました。



北海道 JET スポットライト



北海道にはアメリカ、カナダ、シンガポール、中国、韓国、ドイツ、フランス、ロシアなどから約250人のJETプログラム参加者(外国語指導助手、国際交流員、スポーツ国際交流員)がいます。赤レンガ通信ではたくさんの国々からやって来て現在北海道で暮らす人たちのストーリーを伝えていきます！



やっつけることではないかと冗談を言いながら笑ってました。もし2人の外国人が本当に危険な状態になったら、彼らは何もできないだろうと、次々と彼らの弱さについて冗談を言ってしまいました。

道の終わりに近づいたころ、外国人の男性が振り返って、ボディガードたちに昼ご飯は何を食べたいかと英語で聞いたとき、ボディガードが完璧な英語で何でもいいよと答えました。信じられなくて友達と目が合って、急いで近くにあった店に逃げました。彼らは私たちが言ったことを全部理解していたことに気づいて、とても恥ずかしかったです。やはり見た目ではどんな言語が話せるか判断することができないと実感しました。

北海道の好きなところはどこですか。

A 私が1番好きなことは学校での経験です。特に先生たちや他のスタッフの皆さんはとてもやさしいです。ALTたちは主な時間を学校で過ごすので、学校以外の時間がよくても学校に居づらければ北海道を楽しむことがとても難しくなると思います。

皆さん温かく歓迎してくれた上、とても優しく、私が間違っても許してくれます。学校ではたくさんの素敵な人に出会い、この素晴らしい学校に配置になってとても感謝しています。他の場所で働くことは考えられません。

なぜ北海道へ来たのですか。

A 大学生としての最後の1年間の終わり頃、先の5年間も大学院生として苦勞することには迷いもあったので、将来何になりたいかをじっくり考えられる時間を与えてくれるであろうJETプログラムに応募してみようと思いました。

これまでの北海道での経験について教えてください。

A 自分の寒冷気候に耐えられる力を過大評価してしまったのかもしれませんが。写真で見るととても美しく落ち着いていると感じますが、実際に6ヶ月間以上毎日雪とともに暮らすのは全く違うと気づきました。しかし、必ずしも安楽な経験ばかりではなくても、北海道でこのALTの仕事するのは一生忘れられない経験になり、後悔はしていません。

これまで一番印象に残っていることは何ですか。

A 特に小樽へ行ったときの出来事がとても印象に残っています。ある道を歩いていると、友達が私たちの前を歩いているインカムを付けた、ボディガードのような服を着た2人の日本人男性に気づきました。彼らは日本語で話していて別世界にいるように忙しそうでした。彼らの前をこっそり見ると、外国人男女2人の後ろについていることが分かりました。

彼らを尾行しながら、ボディガードが付くくらい有名な外国人2人はいったい誰だろうと推測してみました。ボディガードにとっても近かったが、私たちは小柄な女性なので、威圧的ではないだろうと思っていました。彼らをつけ続け、ボディガードがガリガリにやせているので私たちでも

ハワイ州と北海道の友好提携についてどう思いますか。

A ハワイは本当に特別な場所です。一生にせめて一度行くべきだと思います。ハワイのビーチが一番という人が多いですが、あまりビーチ好きではない私はハワイの他の面もとても素敵だと思っています。ハワイ島でキラウエア火山の雄大さに感動したり、マウイ島でハレアカラ山の朝焼けを眺めたり、オアフ島で私の一番好きなレストラン「パニャビストロ」の世界のアジアンフュージョン料理を食べたり、カウアイ島の緑豊かな自然を楽しんだり、ハワイの各島にはそれぞれユニークな特徴があり、全部へ行かないとなりません。

この友好提携を通して、道民の皆さんはワイキキやアウラニ・ディズニーリゾート以外にさまざまなところを訪れて、ハワイ州の豊かな文化や歴史を感じてほしいです。

エリン・フクシマさんはハワイ州オアフ島出身、札幌市の外国語指導助手(ALT)です。趣味はウクレレを弾いたり、ユーチューブを見たり、たくさんのおいしい食べ物を食べることです。JETプログラムは3年目、今年の8月に4年目になります。